



機関リポジトリについて

2006年9月7日(木)

館内職員WGでの説明

図書館・情報部図書館情報課

目次

- 1) 機関リポジトリとは？
 - 2) 横浜国立大学の機関リポジトリ
 - 3) リポジトリにいたる歴史
 - 4) リポジトリと著作権
-

機関リポジトリとは？

- 大学や研究機関が、教育・研究の成果を電子的に蓄積・保存し、無料で永続的・安定的に利用に供するインターネット上のデータベースのこと。
 - 学術論文の全文を誰もが無料で閲覧できる。
 - 資料の収集・保存・公開を大学がサポートする。

リポジトリ？

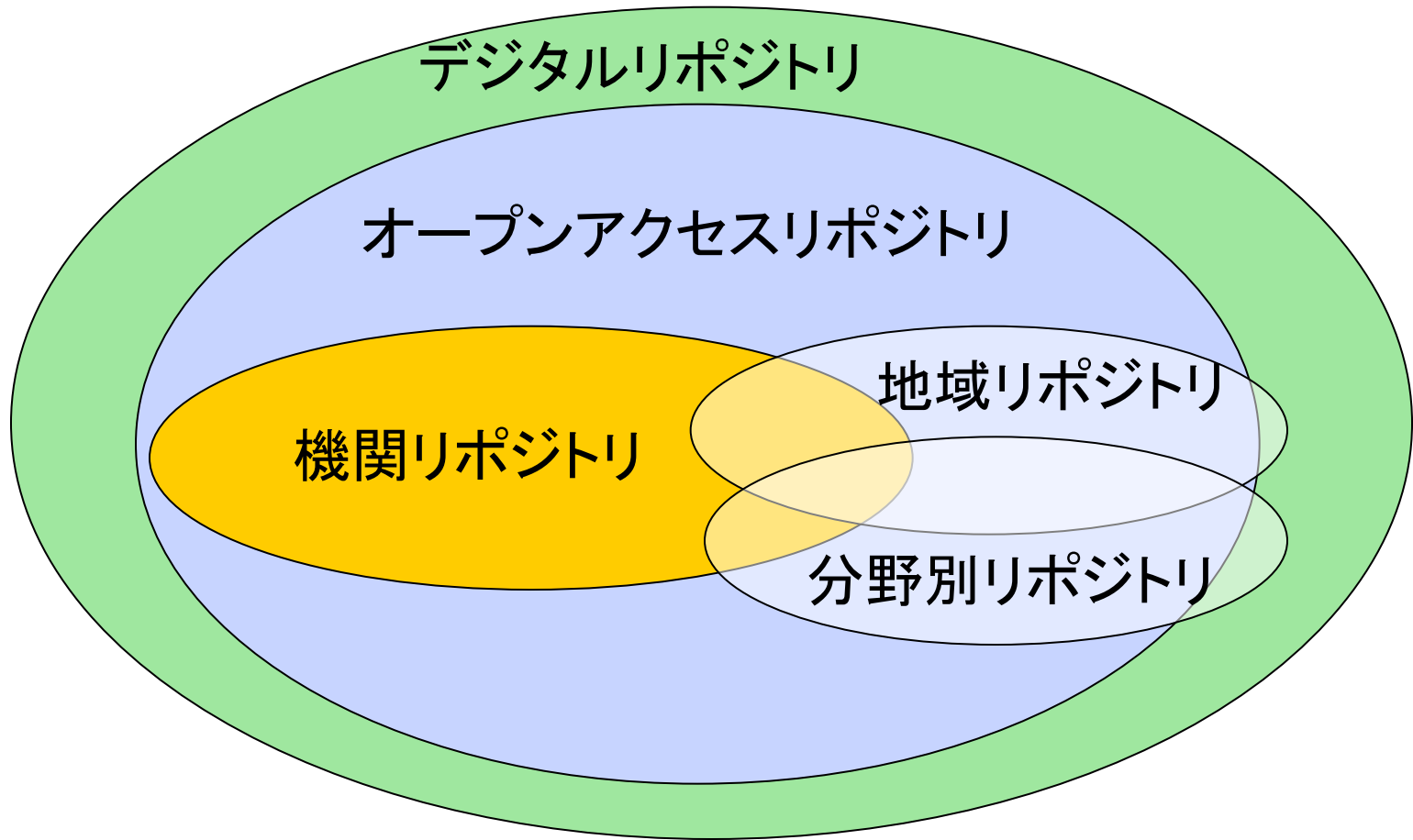
■ repository

- 貯蔵庫、宝庫。博物館。
- a place where things are stored and can be found
→取り出せる

■ depository

- 保管所、宝庫。
- a place, especially a large building, for storing things
→貯めるだけ

機関？



機関リポジトリの目的

- 学術コミュニケーションの構造改革に寄与する
 - 学術雑誌の価格上昇
 - ネット上で研究者が個人的に成果を公開していた
- 大学のブランド力を高める
 - 学術情報を発信する
 - 大学の質に関する具体的な指標となる
- デジタル情報の永続的保存を担う
 - 大学がサーバを管理する
 - コンテンツのアドレスが変わらない

リポジトリの特徴

「メタデータ」といいます。

- 論文をPDF形式で収録。書誌情報がついている。
- 登録した論文のアドレスが変わらない
 - サーバの交換を行っても、アドレスを変えない仕組みがある。
- 検索しやすい仕組みがある
 - 日本のリポジトリに登録されている論文は、NIIの「大学Webサイト資源検索(JuNii)」で検索できる。
 - ミシガン大学の検索システムOAlsterで、世界のリポジトリを検索できる。
 - 場合によってはGoogleで検索できる。

横浜国立大学学術成果リポジトリ(試行版)

[図書館ホーム/Library Home](#)

検索/Search DSpace:

Go

[詳細検索/Advanced Search](#)

[ホーム/Home](#)

ブラウズ/Browse

[コミュニティ
コレクション
\(Communities
& Collections\)](#)

[タイトル\(Titles\)](#)

[著者\(Authors\)](#)

[日付\(By Date\)](#)

[ヘルプ\(Help\)](#)

[About DSpace](#)

[暫定方針\(工事中\)](#)

[Creative Commons\(工事中\)](#)

[DSpace at Yokohama National University >](#)

[附属図書館 >](#)

[論文 >](#)

アドレスが固定している

このアイテムに引用したりリンクするにはこのIDを使用してください/Please use this identifier to cite or link to this item: <http://hdl.handle.net/2154/22>

Title: 新館紹介－横浜国立大学中央図書館

Authors: カツマタ, ヨシツグ
勝俣, 好次

Keywords: 大学図書館
図書館建築
横浜国立大学中央図書館
トータルデザイン
多機能文化空間
増築・改築

Issue Date: Dec-2003

Publisher: 学術文献普及会

Series/Report no.: 大学図書館研究;69

Abstract: 横浜国立大学中央図書館は「開放性」「国際性」「実践性」「先進性」を目指した本学の教育・研究活動を支援するため、1年間にわたる「附属図書館のトータルデザインに関する調査研究プロジェクト」の成果を踏まえて、中央図書館の増築・改修により利用者の多様なニーズに対応した「人と情報の出会いを演出する多機能文化空間」を新たに創出した。

URI: <http://hdl.handle.net/2154/22>

ISSN: 03860507

Appears in Collections: [論文](#)

書誌情報
(メタデータ)

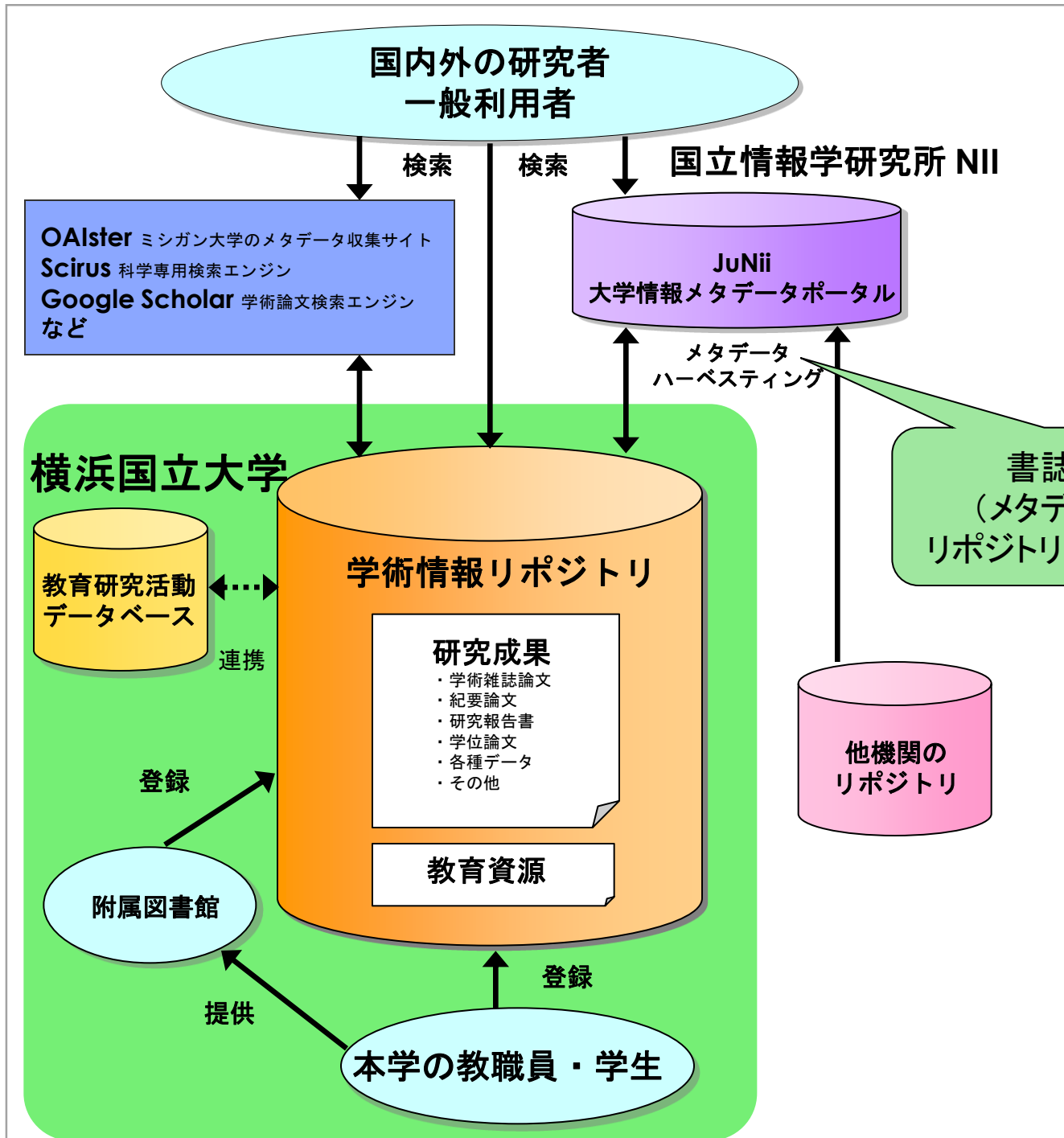
クリックするとPDF
がひらく

Files in This Item:

File	Size	Format	
ynul_rebuild.pdf	363Kb	Adobe PDF	View/Open

本学で実験運用中のリポジトリで論文を検索したところ <http://izumi.lib.ynu.ac.jp/dspace/>

システム概要図



横浜国立大学

教育研究活動データベース

連携

学術情報リポジトリ

研究成果

- ・ 学術雑誌論文
- ・ 紀要論文
- ・ 研究報告書
- ・ 学位論文
- ・ 各種データ
- ・ その他

教育資源

登録

附属図書館

登録

提供

本学の教職員・学生

書誌情報
(メタデータ)を
リポジトリから集める

他機関の
リポジトリ

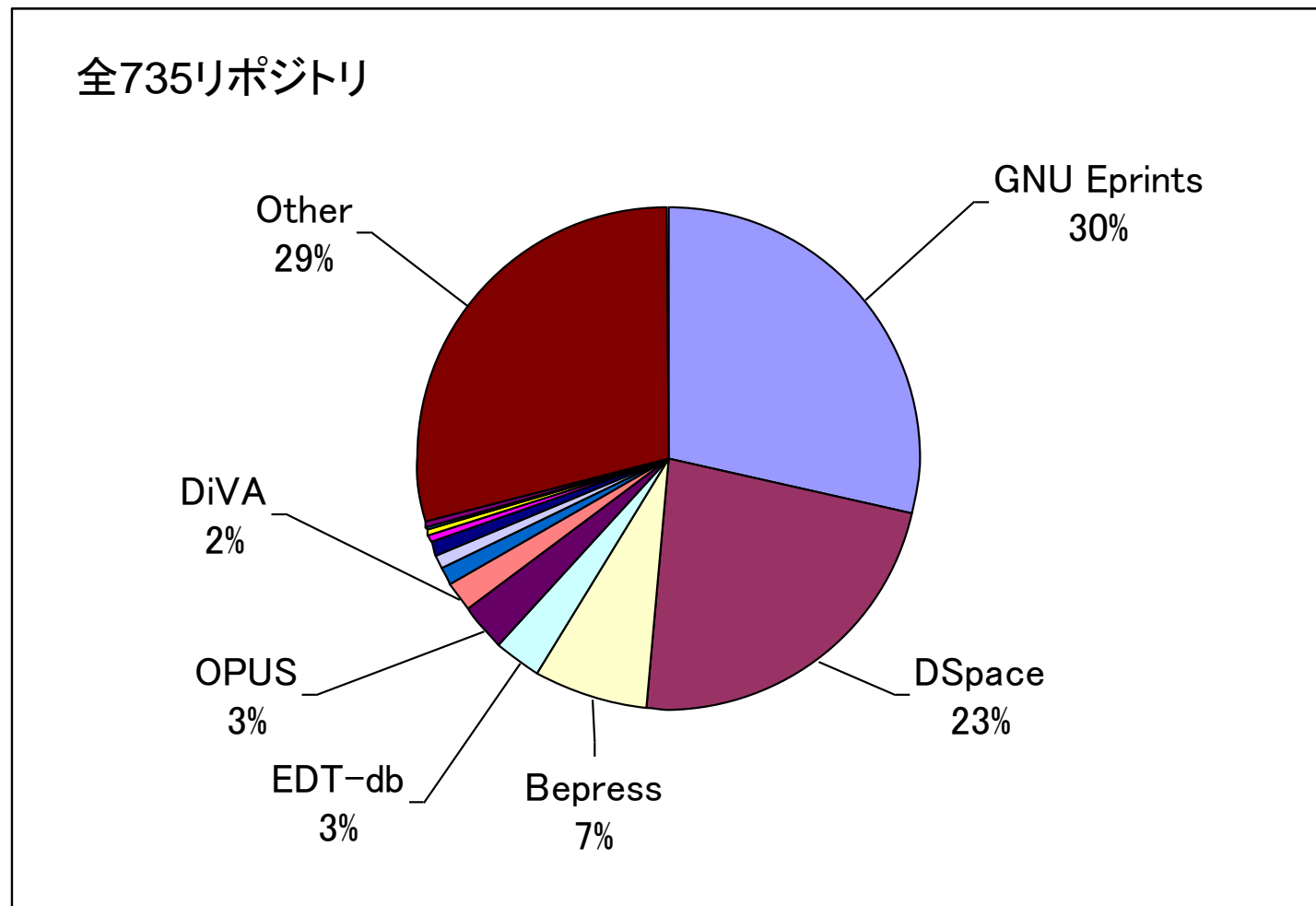
OAlster ミシガン大学のメタデータ収集サイト
Scirus 科学専用検索エンジン
Google Scholar 学術論文検索エンジン
など

JuNii
大学情報メタデータポータル

国内外の研究者
一般利用者

国立情報学研究所 NII

世界で使われているリポジトリソフト



日本で使われているリポジトリソフト

- DSpace 14リポジトリ
 - 北海道大、筑波大、東京大、など
 - NTTデータ版：学芸大、熊本大、沖縄国際大
- E-repository 3リポジトリ
 - 千葉大(原型)、阪大、広島大
- Infolib-DBR 1リポジトリ
 - 山口大
- XooNips(ズーニプス) 1リポジトリ
 - 慶応大
- Bepress 1リポジトリ
 - 岡山大

横浜国立大学での進捗状況

平成18年5月26日 次世代学術コンテンツ基盤共同構築事業 委託事業
(国立情報学研究所、NII)に応募。

7月7日 NIIより、採択通知があった。 →コンテンツの形成

7月13日 学長名で「学術情報リポジトリ運営委員会規則」が制定され、
教育研究評議会にて「学術情報リポジトリ運営指針」が決定した。

7月27日 産学連携推進本部運営会議にて予算措置が決定した。
→リポジトリシステムの導入

8月4日 NIIに「業務計画書」を提出した。

8月4日 第1回学術情報リポジトリ運営委員会を開催した。

今後 システムの導入、コンテンツの形成を進める。

平成19年2月 リポジトリ本格稼働予定

初期コンテンツの整備案

8月4日提出「業務計画書」より

平成18年度計画

- 学術雑誌論文 200件
- 紀要論文 1,000件
- 学位論文(博士論文) 100件
- その他(科研報告書、研究報告書) 100件

登録対象と登録者

■ 登録対象 (運営指針第4条)

- 教育研究活動における研究成果及び教育資源等

■ 登録者 (運営指針第5条)

- 本学に在籍する、又は在籍したことのある教職員及び学生
- その他学長が特に認めた者

コンテンツ登録の手順

論文の多い先生を探して、登録をお願いする。

- ・研究者総覧で探す
- ・文献データベースWeb of Scienceで探す

図書館情報課



宣伝・働きかけ



本学の
教職員・学生

論文の提供

電子ファイル又は紙で

論文のPDF化
書誌情報を付与

アップロード

入力作業

リポジトリ
サーバ

論文を蓄積

自分で論文をアップロード・入力作業

リポジトリにいたる歴史

■ Serials Crisis

- 学術雑誌の価格高騰
 - 読者 学術情報を利用できない
 - 著者 研究インパクトが低下

■ Self-Archiving

- 自分で作成したコンテンツを自分で保管する

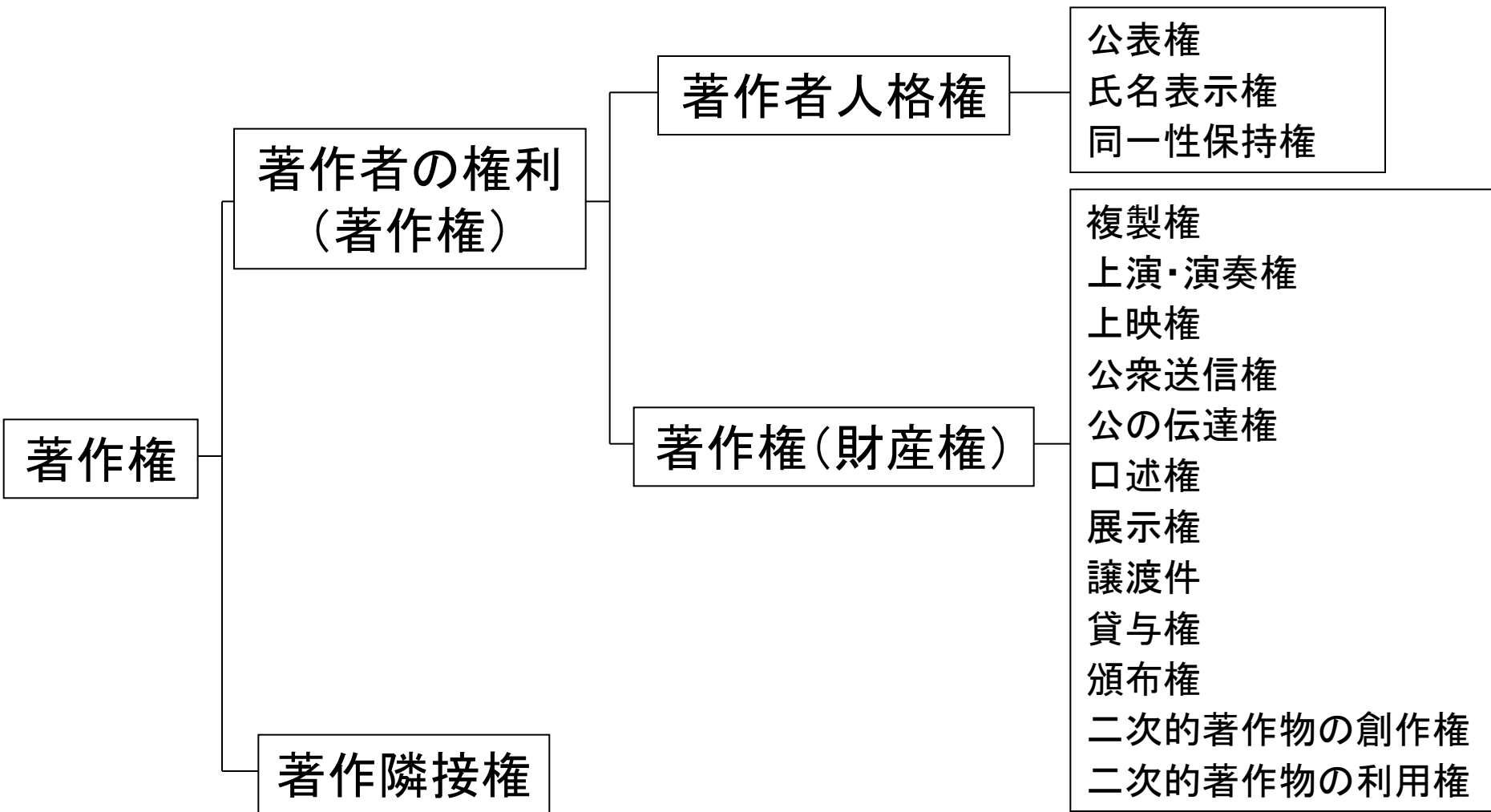
■ Open Access

- 無料公開
- BOAI (Budapest Open Access Initiative)2002年2月
 - 戦略:セルフアーカイビングとオープンアクセス誌の出版

オープンアクセス関連の動き

- 1991年 米国ロス・アラモス国立研究所でプレプリントのデポジトリe-Print archiveを開設した。
- 1998年 ARL(米国研究図書館協会)がSPARCプロジェクトを立ち上げた。商業出版社に対抗する出版ベンチャーを支援。
- 2001年12月 Budapest Open Access Initiativeで宣言を起草。
- 2002年8月-2003年7月 RoMEOプロジェクト。現在はSHERPAプロジェクトに引き継がれている。
- 2003年頃? Stevan Harnadがセルフアーカイビングをグリーンの道、オープンアクセスをゴールドの道と呼んだ。
- 2002年7月 日本では、千葉大学がリポジトリ計画を開始。2005年3月に正式運用を開始した。

著作権法における著作者の権利



著作権について

- 著作物とは（著作権法第2条第1項）
 - 思想又は感情を創作的に表現したものであつて、文芸、学術、美術又は音楽の範囲に属するものをいう。
- 著作者とは
 - 著作物を創作した人
- 「著作者の権利」の付与
 - 著作物を創作した時点で著作者に「自動的」に付与される。
 - その一部または全部を譲渡したり相続したりできる。

グリーンジャーナルとは

■ セルフ・アーカイビング

- 学術雑誌に投稿した自分の論文を、個人のWebサイトや所属機関のリポジトリ等に登録して無料公開すること。

■ Green road

- Stevan Harnadが、セルフ・アーカイビングをグリーンの道、オープンアクセス誌のことをゴールドの道と呼んだ。

■ RoMEO

- 英国のRoMEO (Rights MEtadata for Open Archiving) プロジェクトが、出版社に対して、セルフアーカイビングを許可しているかどうかを調査した。

→ 著者が自分の論文をWebで無料公開することを許可している雑誌

Publisher copyright policies & self-archiving

Statistics for the 169 publishers on this list

RoMEO colour	Archiving policy	Publishers	%
green	can archive pre-print and post-print	76	45
blue	can archive post-print (ie final draft post-refereeing)	42	25
yellow	can archive pre-print (ie pre-refereeing)	15	9
white	archiving not formally supported	36	21

Summary: **79%** of publishers on this list formally **allow** some form of self-archiving.

Current Journal Tally: **94% Green!**

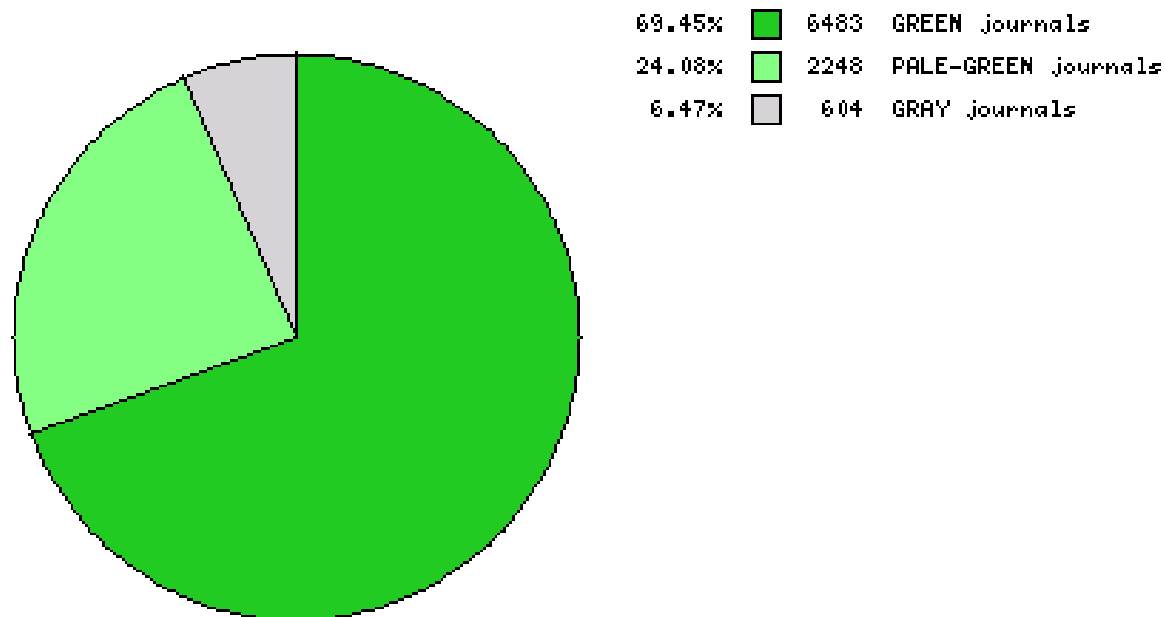
FULL-GREEN = Postprint, PALE-GREEN = Preprint, GRAY = neither yet

Total number of publishers registered at ROMEO to date: 154

Number of publishers processed so far: 155

Number of journals processed so far: 9339

Journal Policy Chart





ありがとうございました

